

大学名 浜松医科大学

第69号 特集テーマ「国立大学のこれから」

表題 医学部におけるアントレプレナーシップ教育の推進

浜松医科大学では、昨年度設置された次世代創造医工情報教育センター(Nx-CEC)を中心として、医学・工学・情報学の緊密な連携による製品開発やデータサイエンス・AI技術を基盤として、社会課題の解決に挑戦できるデザイン思考やアントレプレナーシップ教育を行うという全国の医学部でも特徴的な取組を実施している。

本学が考えるアントレプレナーシップは、医学部という特性を踏まえて、社会や医療の中で生じるさまざまな問題点にイノベーションや創意工夫を通じて立ち向かい、問題解決につなげる能力としており、単に起業だけを推進しているものではない。具体的には、地域のスタートアップ企業の代表や医師起業家を講師に招いての講義や、「自由に発想すること、自ら行動を起こすこと」を重視し、ユニークなアイデアで課題解決をする能力を身に付けることを目標とした授業の実施など、1年次から継続して教育を行っている。

センター設置から一年半が経過し、既に多くの成果が出ている。静岡の産業活性化や次代の産業を担う人材発掘を目的に開催された「しずおかビジネスプランコンテスト」において、本センターが指導する学生団体が62プランの応募の中から最優秀賞を受賞した。また、学生が大学執行部や弁理士、金融機関にビジネスアイデアをプレゼンする「学生ピッチコンテスト」を毎年開催し、その提案のなかから「ユーザーフレンドリーな新しい点滴棒の開発(実用新案登録)」や、学生カフェを中心として浜医コミュニティづくりを目指した「学生による『浜医Café』の開催」、さらに、SMBCコンシューマーファイナンス株式会社から講師の方を招いた「金融経済教育セミナーの実施」など学生発の様々な取組が実現している。

今後もアントレプレナーシップ教育を推進することで、社会にイノベーションを創出する人材、医療の課題解決に挑戦する人材を育成していく。



学生ピッチコンテストの様子
コロナ禍の影響か、機器開発だけでなく、コミュニティ形成の提案が複数プレゼンされた



浜医Caféの開催
学生が資金・協賛企業集め、スタッフ募集やメニュー開発など、準備から当日の運営までを行い、学内外の多くの方の協力を得て、5日間実施した